

みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば  
みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば  
みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば

# みんなのひろば

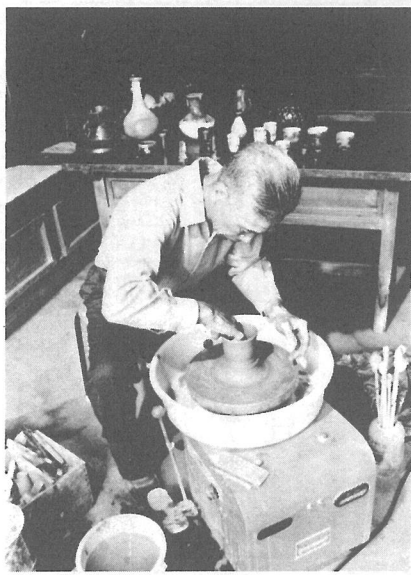
身近な話題や、部落での催し物などがありましたら  
広報係（2-1115）までお知らせください。  
掲載された写真をほしい方は、広報係まで。

みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば  
みんなのひろばみんなのひろばみんなのひろば

## 作ることに喜び 陶芸に生きがいを

淡い緑の苗が田の面に植えつけられ、農家もほっとひと息というところでしようか。

農業のかたわら陶芸にいそしんでいる、木戸台の伊藤貴代司さん（七十五歳）。「花器やぐい呑、一輪さし」などに囲まれて、ロクロで作品づくりに熱中しています。



▲ ロクロで作品づくりに情熱を燃やす伊藤さん

始めたのは「七年前になりますか、五十年の四月、県老人大学陶芸科に入って、そこで始めて陶芸にふれ、親しみを感じましたね。だが、いざやってみると難かしいのですが、魅力はありますね」喜びという「何もかも忘れてロクロで作品を作っている時、そ

### 横芝俳壇

横芝句会五月例会

土屋 栗水  
連作の畑のやりくり苗を買ふ  
成田 様子  
苗売りの呼ばれし向に肩を替え  
宇井 芝董  
手短かに作づけ教えひさぐ苗  
鈴木 要  
何時の日も働く母や母の日も  
若梅あやめ  
苗売りや霞をかけて水かけて

### 横芝短歌

向後 雅子  
卯波立つ九十九里浜未だ寒き  
鈴木 南知  
苗売や小銭きんちやく首に下げ  
津田 若菜  
夜もすがら吹き抜く風の激しくて  
十階の室に眼覚め聞きをり  
斉藤 寛次  
古畳冷えびえとして光りをり  
彼岸果てし雨の僧房  
伊藤 美穂  
心不全に吾さへ気付かず逝き給ふ  
夫の面輪のおだしかりけり  
海保 きみ  
捨ておきし椎の古木に二つ三つ  
椎茸つきてほのかに匂ふ  
土屋 栗水  
薄命の佳人をしのぶ白木蓮  
一日の風に汚れ目立ちぬ  
矢沢 八重  
細き光り放ちて音なく降る雨は  
短き命の花をぬらせり  
斉藤つね子  
機を降りてロビーより見下す待合  
室夫の眼わが眼ひたとちあふ

### 横芝の碑

(一一三)

### 横芝の道祖神様(中)

道祖(陸)神様が、昔から素朴な信仰の中に、その場所を犯してはならない所として、そのことを物語る風習と経過が、長倉と栗山の両地区に見られます。

長倉で道陸神様と呼ぶ祠は、三方を舗装道路で囲まれた、一見、塚のような小高い場所に建っています。  
祠には、安永六年(一七七七)丁酉五月吉日、伊藤半右工門、と刻まれています。その前には、幣束を刺した棧俵(米俵の蓋)と、注連(しめ)飾りらしい藁縄が納

められていました。  
この祠は、長倉の旧家で、はんにむ」という屋号を持つ、伊藤利夫さん宅の何代か前に、半右工門という人があって、この人が寄進したのです。半右工門さんは、後に隠居して別に家を持たれましたが、刻名でもお気付きと思います。安永の頃、既に名字(姓)を許されている位ですから、名主等の村長として近隣の信望を集めていた模様で、その名前が訛って、半にむ」として呼ばれ、そのまま宗家である伊藤利夫さんの屋号とな

